

原料費調整制度に基づくガス料金単価の調整 (平成 19 年 10 ~ 12 月検針分)

平成 19 年 7 月 30 日

宮崎ガス株式会社

本日、平成 19 年 4 ~ 6 月の LNG 等輸入価格 (貿易統計値) が発表されました。

当社は、「原料費調整制度」に基づき、原料価格の変動が基準原料価格の 5 % を超えたため、基準単価料金 (平成 18 年 4 月改定、平成 19 年 4 月消費税総額表示方式に改定) に対する調整を行うこととなりました。

これにより、平成 19 年 10 月 ~ 12 月検針分の従量料金単価は、平成 19 年 7 月 ~ 9 月に比べ 1 m³ (46.04655MJ) 当たり 1.20 円 (消費税込み) モデル家庭のガス料金は、1 ヶ月あたり 36 円 (消費税込み) の値上げとなります。

平成 19 年 10 ~ 12 月検針分に適用するガス料金は、9 月の検針票であらかじめお客様にお知らせいたします。

(1) 平均原料価格 (10 円未満の端数は、四捨五入)

	平成 19 年 1 ~ 3 月	平成 19 年 4 ~ 6 月	基準平均原料価格
LNG 平均輸入価格 (貿易統計値)	43,270 円 / t	44,540 円 / t	
液化プロパン平均輸入価格 (貿易統計値)	65,650 円 / t	69,080 円 / t	
液化ブタン平均輸入価格 (貿易統計値)	67,600 円 / t	69,470 円 / t	
平均原料価格 (LNG 換算)	44,180 円 / t	45,540 円 / t	40,780 円 / t

$$\text{平均原料価格} = \text{LNG 平均輸入価格} \times 0.9251 + \text{プロパン平均価格} \times 0.043 + \text{ブタン平均価格} \times 0.0197$$

(2) 原料価格変動額 (100 円未満の端数は切り捨て)

$$45,540 \text{ 円 / t} - 40,780 \text{ 円 / t} = +4,700 \text{ 円 / t}$$

(3) 調整額

平均原料価格が、基準平均原料価格に対して 5 % (2,040 円) を超えているので、従量料金単価を調整します。

$$1 \text{ m}^3 \text{ 当たり } +4.34 \text{ 円 (消費税込み)} \quad \text{消費税率}$$

$$(\text{算式}) 0.088 \text{ 円 (100 円あたり調整額)} \times (+4,700 \text{ 円 / 100 円}) \times (1 + 0.05)$$

(計算結果の小数点第 3 位以下の端数は切り捨て)

(4) 従量料金単価(消費税込み)

* (算式) 基準単位料金(消費税込み) + 調整額(消費税込み)

13A	基準単位料金	7～9月検針分 (a)	10～12月検針分 (b)	影響額(b-a)
料金表A (0～16m ³)	237.46円	240.60円	241.80円	1.20円
料金表B (17～81m ³)	194.68円	197.82円	199.02円	
料金表C (82m ³ 以上)	177.92円	181.06円	182.26円	
調整額		3.14円	4.34円	

(5) ガス料金への影響(モデル家庭の1ヶ月ご使用例、消費税込み)

1ヶ月のご使用量	7～9月検針分(a)	10～12月検針分(b)	影響額(b-a)
30m ³	7,337円	7,373円	36円

モデル家庭の料金の計算方法

ガス料金 = 基本料金(1,402.80円) + 従量料金(199.02円) × 30m³

1円未満の端数は切り捨て

(6) ガス料金の計算式

ガス料金 = 基本料金(消費税込み) + 従量料金単価(消費税込み) × 使用量

1円未満の端数は切り捨て

ガス料金表(消費税込み)

平成19年10～12月検針分

	料金表A	料金表B	料金表C
月間使用量	0～16m ³	17～81m ³	82m ³ 以上
基本料金(円/月)	718.20円	1,402.80円	2,760.45円
従量料金(円/月)	241.80円	199.02円	182.26円